

< 陸域モニタリング計画の概要 >

行動計画におけるモニタリングの実施方針

伊勢湾流域圏の水質、生物の生息状況を継続的に監視する。
 施策の効果を確認するとともに、具体的な目標の設定・更新につなげる。
 伊勢湾の汚濁機構解明に必要な基礎データを蓄積する。
 住民参加型のモニタリングを推進する。

↓ モニタリングの実施方針に対し理想的なモニタリング内容を整理

陸域モニタリング計画

モニタリング内容

水質監視、生物の生息状況等、順流末端のフラックス把握等を設定

対象河川

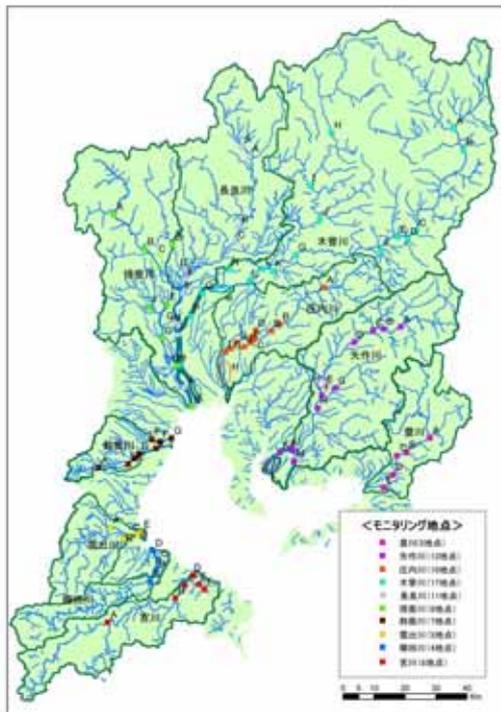
一級河川 10 河川を対象とし、他河川は今後の検討課題

モニタリング地点

水質、フラックスの変化特性、親水活動、生物生息状況、流域面積等を勘案して選定



個別河川のモニタリング計画



- ・陸域モニタリング計画に従って、一級河川 10 河川毎のモニタリング計画を策定
- ・一級河川 10 河川で 87 のモニタリング地点を選定

モニタリング内容	流域										合計	
	豊川	矢作川	庄内川	本郷川	東濃川	樽原川	新島川	墨江川	藤原川	宮川		
水質	水利用	1	2	1	2	1	0	0	1	0	0	8
	親水	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	生態系	2	7	5	4	6	4	4	3	3	3	41
	有機物 栄養塩類	2	8	8	15	9	5	3	2	2	2	56
生物	2	7	5	4	6	4	4	3	3	3	41	
順流末端での フラックス把握	1	2	3	1	1	1	2	1	1	1	14	
延べ地点数	9	28	23	27	24	15	14	11	10	10	171	
実質地点数	5	13	10	17	11	9	7	5	4	6	87	

